



分解組立要領書

小形空気圧シリンダ

10Z-2 (R) シリーズ

安全にご使用いただくために

ご使用いただく上でまちがった取扱いを行いますと、商品の性能が十分達成できなかつたり、大きな事故につながる可能性があります。

事故発生がないようにするためにも必ず分解組立要領書をよくお読みいただき内容を十分ご理解の上、お取扱願います。

尚、不明な点がございましたら、弊社へお問合せください。

株式会社 TAIYO

〒533-0002

大阪府大阪市東淀川区北江口1-1-1

URL:<http://www.taiyo-ltd.co.jp>

1. 分解

1、分解



注意

- シリンダを外す前には、必ず回路内圧力が零であることを確認してください。
- シリンダを分解時、付近には火気を使用しないでください。また、手がすべることもありますので十分注意してください。
- 落としたり当てたりしますと部品が歪むこともありますので、十分注意してください。
- 分解時には指を挟んだりすることがありますので、十分注意してください。

1-1 分解前の注意事項

- 1) シリンダを取り外す前は回路内の圧力を零にして、電源を切ってください。
- 2) 分解の際、ロッド先端ねじ、ポートねじ及びロッド表面に傷が付かないよう十分な保護処理が必要です。例えば、分解の際無理に叩いたり、不意に落としたりすると、ねじ山がつぶれたり、ロッド表面に打痕を生じて不良になったりすることもあるので取扱いには十分注意してください。
- 3) スイッチはシリンダから取り外してください。

1-2 分解に必要な特殊工具、部品

- 1) へら（パッキン取り外し用へら）

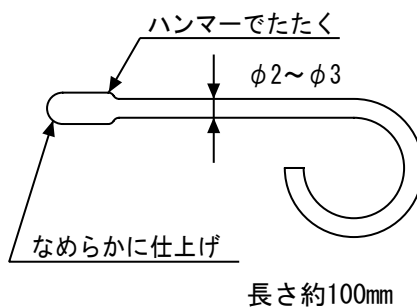
下図を参考に製作してください。

【注意】ドライバ等の尖ったものでの取り外しは絶対に避けてください。

パッキンやパッキンハウジングなどに傷をつけます。

- 2) 交換用パッキン、ガスケット類

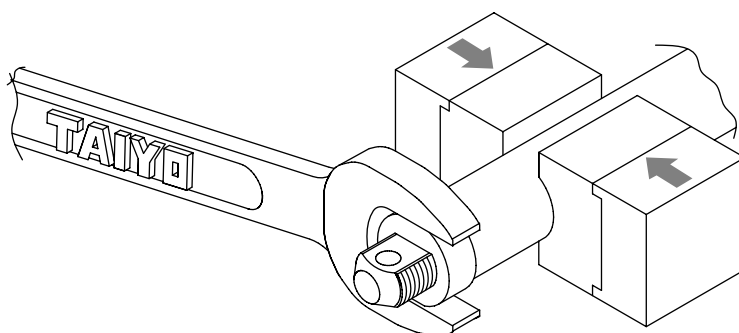
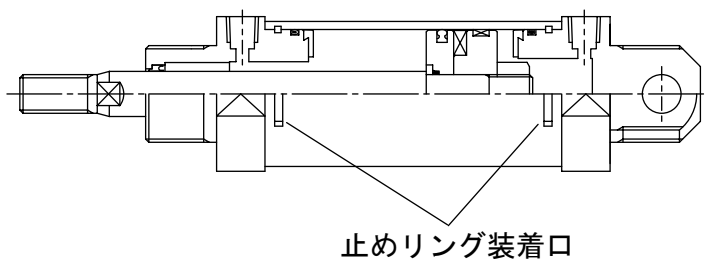
- 3) その他交換が必要な部品



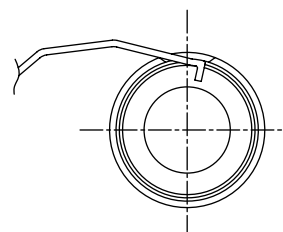
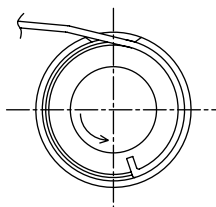
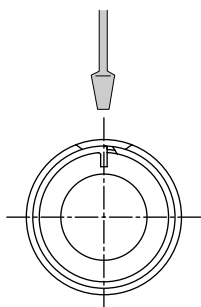
1. 分解

1、カバーの取り外し方法

- 1) シリンダチューブを止めリング装着口が見える状態で固定する。
- 2) 止めリングを見ながらカバーを回し、止めリング装着口に止めリングの端が来るようにする。

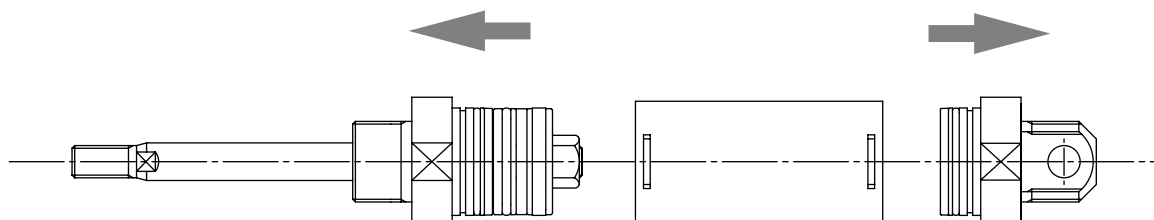


- 3) 止めリングの端をドライバ等で持ち上げる。
- 4) 止めリングのを引っ張りながら止めリングが外へ出る方向へカバーをまわす。
- 5) 止めリングの最後（もう一方の端）が見えたらペンチ等で引き抜く。



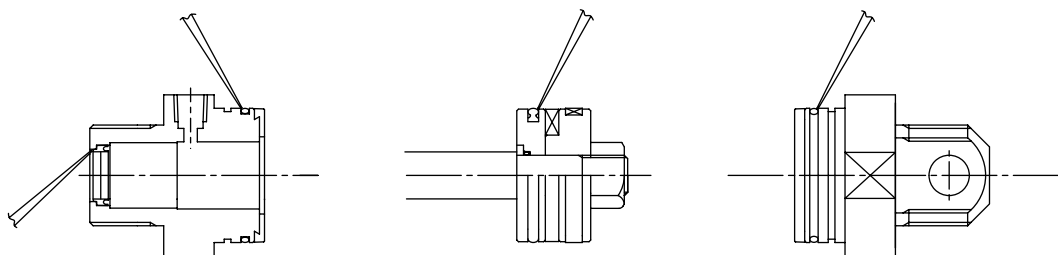
1. 分解

6) ピストン部、ロッドカバー、ヘッドカバーをシリンダチューブより取外してください。



2. パッキンの取り外し方法

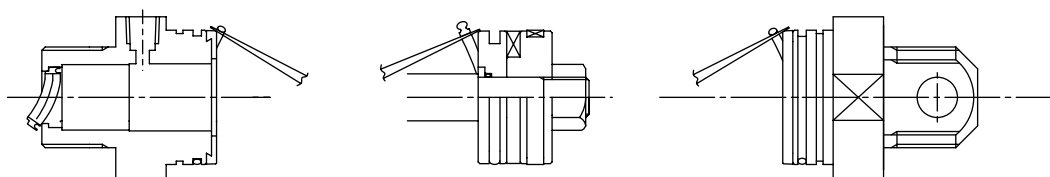
- 1) ピストンパッキン、ロッドパッキンを交換する場合は、ヘラ状のパッキン取り外し工具を用いて行ってください。
- 2) ドライバー等での先の尖ったものでの取り外しは、絶対避けてください。
また、パッキン取り外しの際、パッキン溝及びその周辺を傷つけないように注意してください。



2. 組立

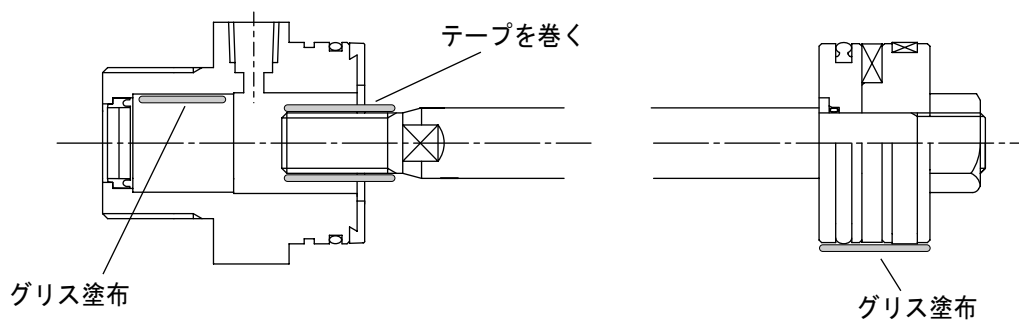
1、パッキンの装着方法

- 1) 装着する新しいパッキンは、グリスをパッキン全体に適量塗布してから装着してください。
グリスは、出光ダフニーエポネックスSRNo. 2相当品をご使用ください。
- 2) パッキンは、パッキンリストに掲載のものを使用してください。
カバーチューブ間のシール（Oリング）は必ず新しいものと交換してください。

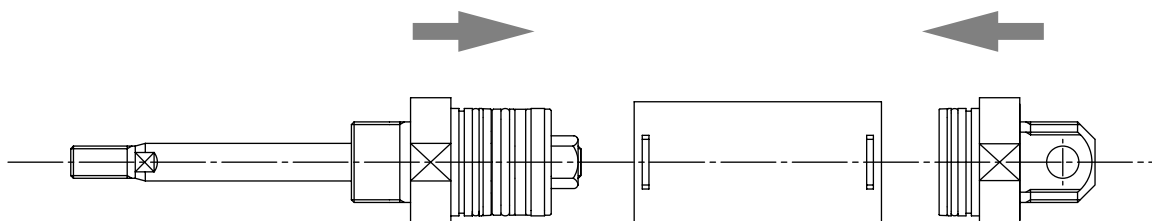


2、組付け方法

- 1) ロッド、ピストンとの摺動面にあたる箇所にグリスを適量塗布してください。
- 2) ロッドカバーにロッドを挿入する際、パッキン等を傷つけないために、ロッドのねじ部にテープを巻いてください。



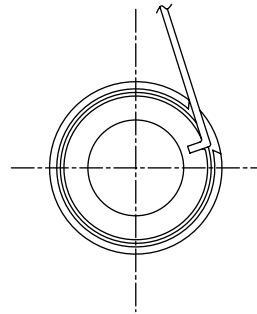
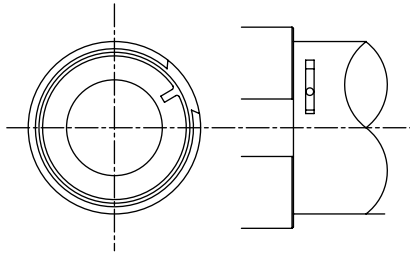
- 3) ロッドカバーにピストンロッドを装着し、チューブに組付けてください。また、ヘッドカバーをチューブに組付けてください。



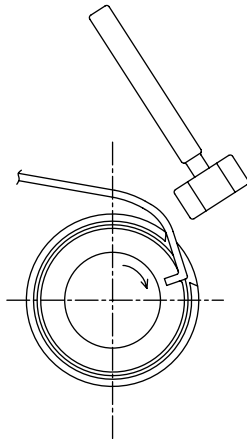
2. 組立

1、止めリングの装着方法

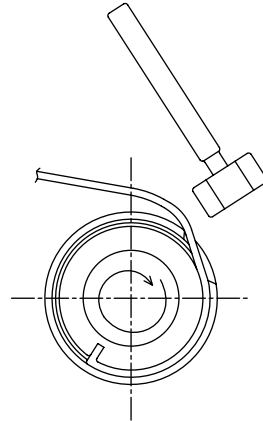
- 1) シリンダチューブにカバーを差し込んだ後、カバーの掛かり止穴がチューブの止めリング装着口から見えるようにする。
- 2) カバーの掛かり止穴に止めリングを差し込む。



- 3) 止めリングをたたいて滑らかに仕上げ。



- 4) 止めリングを滑らかに曲げながら、カバーをまわして止めリングを挿入する。



- 5) 止めリングを完全に挿入する。
止めリングの端がチューブの装着口から見えない範囲で両カバーの二面幅を合わせる。

